

# 光が丘だより

令和5年1月1日 NO.201

1月

「明けましておめでとうございます」

施設長 野沢 修一

卯年がスタートしました。保護者の皆様、関係機関の皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の岩見沢市内の元旦は、昨年の今時期と比べると、雪の量が少なく、天気も比較的穏やかな感じです。子ども達は、大晦日からのカウントダウンの疲れも見せず、お年玉の期待感からか、元旦の朝から元気に過ごしています。

さて今年の学園としての抱負は、家族支援を充実させたいと考えています。特に親子交流は、日頃から離れ離れで暮らす子ども達や保護者の皆様にとって、お互い顔を会わせることはもちろんのこと、電話で声を聞くことも心の支えになっていると思います。また学園では、毎月子どもの様子をそれぞれの保護者の方々に便りでお伝えしていますが、もう少し何かできないかとも考えています。今後改めてコロナ禍の状況に応じた親子交流の方法を検討していきたいと思ひます。現状の学園のスペースでは、保護者の方を学園に泊める部屋の確保が困難ではあるなどのご不便をおかけしますが、保護者の皆様からも親子交流について何かご意見やご要望がありましたら、いつでもお知らせ頂ければ幸いです。

新型コロナウイルスの感染状況は、まだまだ予断を許さない状況ですが、今年一年、職員一同、新たな気持ちで子ども達の安全をしっかりと守る取り組みの徹底を継続していく所存です。保護者の皆様には、時にご不便をおかけすることもあるかと思ひますが、今後とも、学園の取り組みにご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。岩見沢は今年も大雪に見舞われております。お正月休みを利用して何冊か本を読んでいました。その1冊に『74歳、今まで生きてきた中で一番幸せです～老いて子育て、里子が三人～』という現役の里父の著書で、わかりやすく里親の心情を表しておりました。そこで内容を一部抜粋してご紹介します。

～夫婦円満は子育てから～里親をしていると、よく「たいへんですね」と言われます。そして次に続くのが、「とても自分にはできませんよ」という言葉です。でもまずは、その「たいへん」という気持ちを捨てて欲しいと思ひます。それから高齢者のみならずもっと若い世代の人たちにも、里親制度を知ってもらい、一人でもいいから里子を育てて欲しいと思ひます。子ども達が成長した姿を見守るのは、何にも代えがたい喜びです。子育てして初めて、自分が世代を超えて存在しているんだという実感が得られます。私は里子を育てることで、ほんとうに多くの喜びと生きがいをもたらしています。また、実の娘たちが里子と分け隔てなく自然に接していることで、三人の孫たちも多くのことを学んでいると思ひます。

この本にあるように、もっと里親について多くの方に知ってもらうための働きかけをしていく事も里専としてのミッションであると感じている年はじめです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

支援専門相談員

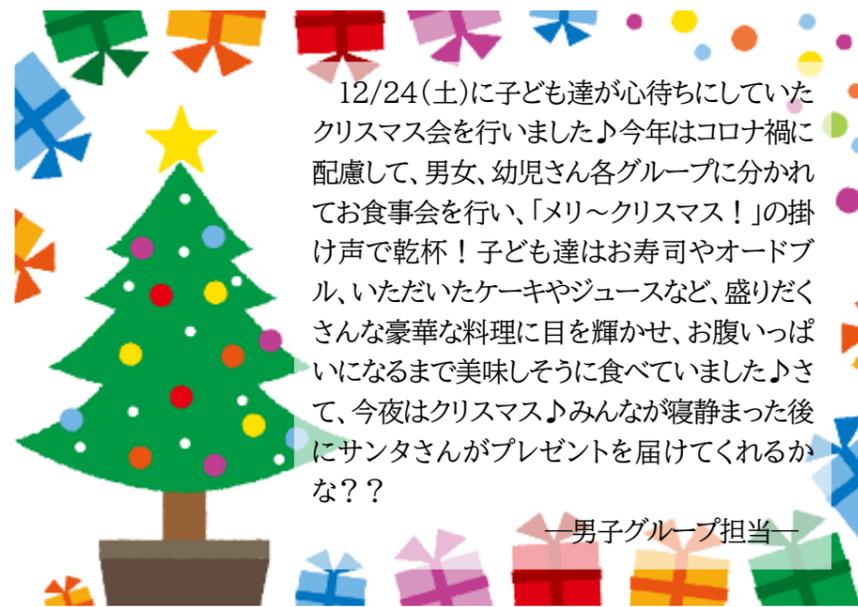
新年明けましておめでとうございます。昨年は皆様方に支えていただきながら、様々なことをさせていただきました。昨年同様、皆様方より応援をいただけますよう、本年も取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

「しばれるね～」と言いつつも雪の少ない12月に安堵しておりましたが、気が付くとしっかりとホワイトクリスマスとなり、年末年始は「やっぱり岩見沢だね～」で落ち着いています(笑)。これからが「しばれ増し増し、雪も増し」の冬本番となりますが、体調等には気を付けながら毎日を過ごしていきましょう。

さて、去る12月13日(火)にマルチメディアホール(岩見沢市自治体ネットワークセンター4階)を会場にして、13:30～16:30の時間帯で『令和4年度 空知ヤングケアラー研修会 ～つなぐ、むすぶ、つながる～』を開催致しました。空知管内自治体の窓口担当者、岩見沢市内の学校関係者(小中高)、空知総合振興局・ハローワーク職員の方等40名程の参加者が、加藤高一郎様(えべつケアラーズ代表)による『コドモの問題はオトナの問題』、長島史子様(北海道岩見沢児童相談所子ども支援課課長)による『ヤングケアラー 児童相談所のとりくみ』の2本の講演に熱心に耳を傾けていました。質疑応答でも複数の質問をいただき、現場の抱える「想い」も会場全体で共有できていたように思ひます。

昨年春先から動き始めた「ヤングケアラー」…「啓蒙・啓発の1年」として位置付けられた一歩目は踏み出せたように思ひますが、これからも皆様と共に取り組んでいけたらと思っています。

光が丘子ども家庭支援センター 主任相談員



12/24(土)に子ども達が心待ちにしていたクリスマス会を行いました♪今年はコロナ禍に配慮して、男女、幼児さん各グループに分かれてお食事会を行い、「メリ～クリスマス!」の掛け声で乾杯! 子ども達はお寿司やオードブル、いただいたケーキやジュースなど、盛りだくさんな豪華な料理に目を輝かせ、お腹いっぱいになるまで美味しく食べていました♪さて、今夜はクリスマス♪みんなが寝静まった後にサンタさんがプレゼントを届けてくれるかな??

—男子グループ担当—

クリスマスには沢山の方々からプレゼントなどのご寄贈をいただき、子ども達も大変喜んでいました。ありがとうございました。



## みんなで大掃除

12月27・28日の2日間で毎年恒例の大掃除を行いました。それぞれに割り当てられた場所の掃除に取り組み、「俺はここやる」「俺はこっち」と言って率先して行ってくれる子、小さい子と一緒に楽しみながら行う子、こだわって時間をかけて集中して行う子、それぞれですが、みんな頑張って掃除をしてくれていました。

終わってから園長先生からアルバイト代を貰い、にこにこしながら好きなおやつを買いに行きました。みんなのおかげで綺麗になった学園で年を越すことが出来ました。

—男子グループ担当—

## お餅つき



今年もお餅つきを行いました♪炊事さんが炊いてくれた熱々のもち米をまず始めに副園長先生がつき、続いて子ども達が順番についていきました。最初はうまくできなくても、徐々にコツを掴んで楽しめた小中学生と、あまり力はないけれど、お兄さんお姉さんたちに助けをもらいながら一緒に頑張った幼児さん達。ただのお米がみるみるお餅になる様子に達成感を感じて自分達について丸めたお餅はとっても美味しかったです。

—家庭支援専門相談員—

ご厚志ご寄贈など感謝申し上げます(12月1日～31日)  
(ご芳名もれをお許しください)

空知南組様、Air Drive 代表取締役 三島大輔様、エイスピード現場技巧CRカンパニー合同会社代表 坂本 健様、全国シャンメリー協同組合様、赤いリボン代表取締役 高谷郁男様、エムズチキン合同会社代表社員 安東通孝様、北海道漁業協同組合連合会様、「子どもの夢を応援するプロジェクト」広尾町長様、コンパル岩見沢店様、セコマ代表取締役社長 赤尾洋昭様、永井 彰様、ビクトリア観光岩見沢店様、セブンイレブン美園店 仁義智光様、日本鏡餅組合様、ドミノピザ岩見沢店 森店長様、ダイナム北海道岩見沢店様、足立農場様、高橋工務店代表取締役 工藤 豊様、パーラー帝王岩見沢店様、ホクビー代表取締役 瀧澤克則様、ほっともっと様、株式会社創電取締役会長 大屋 均様、ことぶき屋代表取締役 大路由香様、岩見沢市歳末たすけあい実行委員会様、北海道新聞社社会福祉振興基金様、千葉電気工事代表取締役 千葉賢司様、前野商店、日本キリスト教団岩見沢教会様、黒田産業代表取締役 黒田博隆様、毎日新聞東京社会事業団様、岩見沢友の会様、丸一柏木青果店代表取締役 柏木国彦様、北央防災設備代表取締役 永坂 博様、河内克彰 様、菊地支郎 様、山田 昇 様、山本昌則 様、小野寺栄美子 様、川口紀子 様、武田義晴 様、太田米良 様、池田哲也 様、大田 豊 様、斉藤さおり 様、赤間由美 様、荒川博之 様、ケント・マッグロウ様、



1月 行事予定

- 6日 中高生スキー
- 10日 小学生スキー
- 13日 中学校始業式
- 16日 新篠津高等養護学校始業式
- 18日 小学校始業式
- 20日 幼稚園始業式
- 28日 幼稚園始業式
- 28日 お誕生会